

かっぱ通信

発行 北川かっぱの会 〒189-0022 東村山市野口町 3-11-8
三島方 TEL-FAX 042-391-2365
E-mail kapa@abeam.ocn.ne.jp
URL <http://www6.ocn.ne.jp/~kapa>

2007年12月16日
Vol. 71
忘年会オリオン
見ながら
帰り道
号

報告 12・8 七面鳥でクリスマスパーティー

2008年もよろしくお願ひします



かっぱ通信でも寄付を呼びかけた「淵の森」対岸緑地の公有化実現祝賀会が11月11日に現地で開催されました。かっぱの会ではNさんご家族が参加。お嬢さんのMちゃんが「森が残ってよかったです」と参加者の前で可愛い喜びを表明してくれたそうです。様々な紆余曲折はあったのですが、とにかく公有地化されてよかったです。柳瀬川の自然護岸は守られました。淵の森に思いを寄せた人々の善意に感謝です。

北川から続く淵の森までの柳瀬川護岸にはまだ一部自然護岸が残っているところがあります。その自然護岸も少しでも残せたらと祝賀会の報告を聞きながら思いました。

さて、2007年も残り僅か。この一年のかっぱの活動にご協力ありがとうございました。来年は1月13日の新年会が事始です。ぜひご参加ください。

ちよつと一言

淵の森公有地化は寄付金が2500万円、東村山市が4800万円の支出で実現しました。

報告 12・8 かつぱクリスマスパーティー

七面鳥も美味でした



入会前から話聞いて、とても楽しみにしていたクリスマス会。

子どもと二人わくわくしながらかつぱ亭に向いました。着いて最初に目に飛び込んできたのが、庭の焚き火の上の七面鳥の丸焼き！そして奥には大鍋の豚汁、その周りには珍しい料理アリ、お酒アリ、...。外でいただく味は格別でした。ピアノやギターの生演奏を聴きながら大人も子どもも火を囲み皆思い思いにおしゃべりを楽しんでいます。私も早速仲間に入れてもらいました。

ゆらゆらゆれる焚き火の火を見ていると不思議とゆったりした気持ちになれます。今まで焚き火がしたくて冬キャンプに行っていたのですが、この醍醐味をお庭で味わえるなんてなんという幸せでしょう。贅沢な時間にいつまでも浸っていきなりました。子どもたちはかつぱの会で、学校の先生でもない、親でもない様々な大人やお兄さんお姉さんと出会い、将来こんな風なオトナになりたいなという大人像ができあがっていくのかしら？と先輩母親と話しました。

そんな幸せな子どもたちに、そして大人たちに

Merry Christmas!!

Merry Christmas!!

(高橋郁子)

お詫び かつぱ通信の発行が2週遅れたため、クリスマスのお知らせが十分出来ませんでした。楽しみにしていただいていた会員の方には大変申し訳ありませんでした。これからも毎年12月の第2土曜日の予定です。

流域のみどりを巡る＋醤油だんごと狭山茶

11月23日(祝)、快晴の空の下、流域のみどりを中心に巡る約6kmのウォークを楽しみました。

数日前からの寒波の影響もあってか、モミジやサクラを中心に色づき、武蔵野の秋を楽しむことができました。

今回は、正福寺とその境界の畑、ケヤキの独立樹、多摩湖町内の市民農園、水田、果樹園、雑木林などを中心に見てまわりました。特に多摩湖緑地やせせらぎの道周辺では、ホタル博士の近藤さんによる解説を聞きながら、自然の楽しさや緑地の管理の大変さを再認識することが

できました。

また、ポイントで永島さんの解説によるカシラダカ、オナガ、コサギ、モズなど鳥たちの姿を、望遠鏡で観察しながら歩きました。昼食は、東村山で昔から食されている「醤油団子」と狭山茶を、八国山を眺めながら楽しみました。全体的には、狭山丘陵の東麓の斜面に何とか残っている緑と北川流域の田畑を保全し、北川の水質や水量を何とか確保していきたいということを再認識したウォークでした。《清水》

知っておきたい 全国雨水ネット会議 来春発足

雨水の貯留・浸透・利用を強化するため、関係の産官学民による連携組織となる「全国雨水(あまみず)ネットワーク会議」(仮称)が来年八月に発足する。雨水利用自治体担当者連絡会を始め、国、学会等専門家団体、NPOなどが参加する予定。「雨水法」の制定も視野に、社会システムへの位置付けを図っていく考え。

近年、気候変動等の影響とされる豪雨、渇水の頻発や大地震の発生等が危惧されている中、都市機能の確保や防災の観点からも、雨水の貯留・浸透・利用の強化が社会的な要請となっている。そうした中、従来の動きに加え、国、日本建築学会など雨水利用に向けての動きがあり、ネットワーク化の機運が高まっていた。雨水関連事業については、ドイツのベルリン市では雇用数が毎年約四〇〇〇人ずつ増えているとされ、日本でも「雨水業」が成り立つ社会システムづくりが求められている。

・・・平成19年12月12日(水)発行の「環境新聞」から・・・

日増しに寒く・・・魚たちは？

狭山公園や北山公園の紅葉ももう終盤。散り始めた葉は歩む足元でカサカサ心地よい音を聞かせてくれます。

さて、♪日ごとっ 寒さがつ つのります～♪この頃、北川の魚たちはどうしているのでしょうか？ 川沿いを散策しても、元気に泳いでいるのはコイとカモくらいで、はねる魚や網を持った親子の姿もなく先日までの賑やかさとは対照的に静まり返っています。どうやら夏の間私たちを楽しませてくれた小魚たちはいよいよ冬眠モードに入り始めたようです。

魚は、カエルやヘビなどと同じように体温が回りの環境に合わせて変わってしまう変温動物です。このため、多くの魚は水が冷たくなると冬眠状態になって、春に再び水が温まってくるまでは餌もほとんどとらず、仮死状態に近い状態で細々と活力を維持するようになります。・・・寒さへの我慢強さは種類によって違うので、日中水温があがると泳ぎだすものもありますが・・・ドジョウや大人のアメリカザリガニのように泥に潜って春までしっかりでてこないものがある一方、泥に潜れないフナやオイカワなどは、川を上ったり下りた

りして移動し、水があまり動かない深みで静かに群れたり川底に積もった落ち葉の間に潜り込んでじ～つとしています。移動するときに魚道があれば通過するので、魚道は上れるだけでなく下れることも重要なのです

さて、家庭では、水槽を部屋内に置いておくと（ましてヒーターなどで加温すると）もちろん冬眠させないでこれらの魚を飼い続けることができます。しかし、日本に棲む淡水魚の多くは四季の温度変化がないと体調をくずしたり、翌年卵を産めなくなったりします。身近の野生生物は季節変化に適応した生活周期を持ち、親魚は生まれた子供たちの餌が豊富な時期に合わせてちゃんと卵を産みます。当たり前のようにですが、すごいことですよ。ね。～～～蛇足ですが、～～～観賞用のヒゴイや金魚は冷たい水でどれくらい飼うかで赤色の鮮やかさが変わるらしく、愛好家の腕の見せ所です。

(康)



ほんとは目をつぶれないんです。目開いて寝ています！私・・・



水辺だより<10月～11月>

どんぐりココロ ドジョウはどこだ

<10月>

北川にドングリの実が沢山落ちています。水辺の自然が豊かなまさに北川らしい光景です。

今月から私たちボランティアグループ「北川水辺倶楽部」の活動は10年目に入りました。しかし、近年減少傾向にあったゴミは昨年度から再び増加に転じました。ゴミの無い北川を目指す私たちの活動はまだまだ続きます。

ボランティアグループ「北川水辺倶楽部」
*毎月第2土曜日9時～10時半
*集合：北山小学校正門9時
連絡：松村（042-393-1852）

<11月>

今月は第2土曜日が雨でした。最近36カ月の第2土曜日の降水率は14%で以前の3倍になりました。ちなみに過去9年間の第2土曜日で雨天の無い月は1・2・3・4・9月となっています。

北川の秋も深まり、紅葉した落ち葉が川の浅瀬に綺麗な斑点模様を作っています。例年寒くなると北川の小魚はめっきり少なくなりますが、今日は至る所で沢山の小魚を見ることが出来ました。近年、小魚が年間を通じて少なくなっただけに本当に嬉しい限りです。

報告

★のぼりを作りました★

今回、広報用の横断幕、のぼり旗をセブンイレブンの助成金を使用して作製しました。クリーンアップの1週間前から、主な橋4カ所に設置し広く市民の参加を呼びかけました。



狭山公園内の北川源流をビオトープ化するために！

東京都に対して要望書を提出

さる10月30日、北川かっぱの会として、東京都水道局と同建設局に対して上記のように、北川源流のビオトープ化に向けた要望書を提出しました。

わが会はこの10年、北川一帯の清流復元と緑の保全と再生をテーマに活動してきました。お陰さまで北山公園内のコンクリート護岸を自然護岸に再生したり、魚道を設置したり、行政と連動しながら、さまざまな成果を残してきました。まだ課題はたくさんありますが、今回の狭山公園内を流れる北川のビオトープ化もその課題のひとつとして位置付けてきました。要望書提出後、狭山公園現地で都建設局と水道局の各担当者7名に来て頂き現地説明会も開催。その後東村山市都市整備部次長もまじえ、わが市の課題としても、今後持続的な都との話し合いを進めていくことが確認されました。進捗状況については適宜、報告していきたいと思います。

(三島)

鴻巣からのお便り

<お便りを下さったのは水辺倶楽部の川掃除に埼玉県の鴻巣から参加して下さっている新井田さんです。>

私は、夏から川の観察のボランティアに入った。最近土や虫に触ることなども避けていたのだと、活動を通してみて、ふと思う。その中で、少し汚れてみることも必要だと感じた。始めは川に入るということに抵抗がかなりあったけれど、今では自然と会話をしているように楽しい。

ゴミを拾う立場になって大変さがすごく分かる。一度汚すと元に戻すのには、大変なことなのだ。最初の一步を踏み出すのは難しいけれど、清掃することで気付かない面も見えてくるので、拾うことを一度味わってみて欲しい。

これからも自然の形により近づけるために人間は、自然保全に努力しなくてはならない。自然を汚す権利なんて人間には決してないのだから。そして人間も、自然の一員なのだから。

(新井田慶次)

おすすめの1冊

「川の光」

松浦寿輝 著

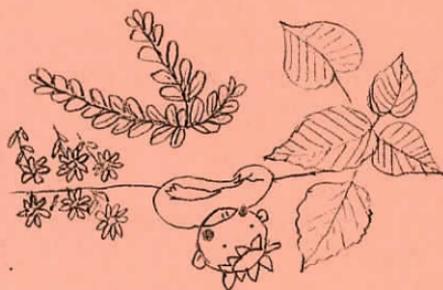
中央公論社 定価 1700+税

母を亡くしながらも川のほとりで平和に暮らしていた川ネズミの父子3人。ある日高速道路工事に3人の生活は奪われてしまう。

安心して暮らせる川辺を求めて上流をさかのぼっていく川ネズミの冒険ファンタジーだ。

表紙の絵がいい。挿絵も丁寧に描かれている。扉に描かれたイラスト地図で3人が今どこにいるのかを確認しながら読んだ。

北川の土手を見ながらこんな小動物の物語を想像してみるのも面白いかも。 (美)



AD 珈琲・カレー&ビール

MARU

早くも年の終わり！ 皆さん今年の1年は如何でしたか？

さてMARUも2007最後をかざり、以下のようなイベントを企画しました。お友達をお誘いの上、ぜひおでかけ下さい。

●2007 MARU

Xmas Party

・日時：12月23日(日)

PM7:00~11:00

1部：トビー岩崎&メタボ中谷&Dr
和田。

2部：ピクリブ フクムラサトシ
(sax)

河野文彦(guitar)

・参加費：3000円(1Drink付)
パイキングディナー

**

●2008 MARU

新春JAZZ LIVE

JAZZ界の鬼才、梅津和時とファンキーな仲間達登場！

・日時：2008、1月18日(金)

PM:6:00 OPEN

PM:7:00 START

・charge: 前売り2800円
当日 3000円

MARU

東村山駅西口 1分

TEL:042-395-4430

インフォメーション

- **かっぱの会新年会**
1月13日(日) 4:00 から
MARU
当日は2時から定例会です。
総会、提言のまとめを話し合います。
- **川端会議**
2月2日(土) 10:00 から
ふるさと歴史館
- **かっぱの会総会**
2月10日(日)
ふるさと歴史館(予定)
- ◎ 「北川流域マップ」 200円
流域散歩にご利用ください。
MARU(東村山駅西口)

【北川かっぱの会 定例会】

1月13日(日) MARU
午後2:00から午後4:00

終了後新年会です。新年会だけの参加もOKです。

- **編集後記**
バリ会議(COP13)の二酸化炭素削減の数値を示さないアメリカのニュースを聞きながらの作業でした。地球はどうなるの。
私たちの小さな活動なんて吹っ飛びそう。それでも思う。
Think globally! Act locally!
(美)

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。現在会員数は268名です。

- **会費** 年間3000円。「かっぱ通信」(隔月間)をお送りします。
- **問い合わせ・申込み先** 〒189-0022 東村山市野口町3-11-8 三島方 北川かっぱの会 Tel/Fax042-391-2365
- **会費振込先**
上記へ現金書留または
〔郵便振替 00120-6-104476〕
〔りそな銀行東村山支店(普)3605694〕
加入者名 北川かっぱの会

新入会員紹介

高橋郁子、竜大、一真(恩多町)

市内の公民館と図書館。東村山駅周辺の「ジェンダー」「トロール」「MARU」に置いています。

『未来の川へ・北川復元プラン』

北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 郵送料390円